

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	発表順	登録番号	症例報告	演題名
8月3日(金)	15:25~16:20	第1会場	一般演題1	偽関節・感染	1-1-08	2	10000		骨移動術におけるDocking siteへのModern Papineau法の治療成績
8月3日(金)	15:25~16:20	第1会場	一般演題1	偽関節・感染	1-1-09	3	10001		下腿遷延癒合症例に創外固定による待機期間後内固定にコンバージョンした2例
8月4日(土)	15:15~15:55	第2会場	一般演題13	合併症	2-2-27	1	10002	○	創外固定を利用した踵骨嘴状骨折に伴う皮膚壊死の対処法
8月4日(土)	8:00~8:40	第2会場	一般演題9	難治性病態	2-2-04	4	10003		創外固定器治療による関節拘縮や脱臼の合併症に対応可能なModular Rail System
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-01	1	10004	○	医原性の腓骨短縮に対して腓骨単独延長を行った1例
8月4日(土)	16:05~16:45	第2会場	一般演題14	骨折3	2-2-33	1	10005	○	顔面粉砕骨折にIlizarov創外固定、大腿骨粉碎骨折にモノチューブ創外固定とMasquelet法で治療した全身多発骨折
8月4日(土)	16:05~16:45	第2会場	一般演題14	骨折3	2-2-34	2	10006		糖尿病性神経障害を伴う足関節骨折の治療経験
8月4日(土)	8:00~8:40	第2会場	一般演題9	難治性病態	2-2-01	1	10007	○	左下腿遠位部骨折術後6年で再燃を認めた難治性骨髓炎の1例
8月3日(金)	15:25~16:20	第1会場	一般演題1	偽関節・感染	1-1-10	4	10008		指節骨用創外固定器を用いて治療した化膿性DIP関節炎・骨髓炎の2例
8月4日(土)	9:40~10:40	第1会場	若手Awardセッション		2-1-07	1	10009	○	人工肘関節置換術かつ上腕骨頸部骨折ORIF後の上腕骨骨幹部骨折を受傷した関節リウマチ患者に対するリング型創外固定器治療の1例
8月4日(土)	8:00~8:40	第2会場	一般演題9	難治性病態	2-2-02	2	10010		複数指皮膚剥脱の皮弁術後に対する創外固定を用いた指間開大・指間形成
8月3日(金)	10:00~10:55	第2会場	一般演題3	変形矯正・足	1-2-08	1	10011		ショパール離断と同時に距骨下関節の創外固定術の有用性
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-16	1	10012	○	骨端線早期閉鎖に伴う大腿骨遠位屈曲変形に対しTaylor spatial frameを用いた1例：術後8年の経過
8月3日(金)	10:00~10:55	第2会場	一般演題3	変形矯正・足	1-2-09	2	10013	○	熱傷後重度内反尖足変形に対し創外固定器を用いて治療を行った1例
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-17	2	10014		脛骨骨折変形治癒を伴う変形性膝関節症に対してTaylor Spatial Frameによる緩徐矯正高位脛骨骨切り術を行った5例
8月4日(土)	9:40~10:40	第1会場	若手Awardセッション		2-1-08	2	10015	○	Taylor Spatial Frame を用いた骨移動術により患肢再建を行った右脛骨遠位Ewing肉腫の1例
8月3日(金)	10:00~10:55	第2会場	一般演題3	変形矯正・足	1-2-10	3	10016	○	外傷後に生じた重度尖足変形に対し、イリザロフ創外固定器を用いて矯正を行った1例
8月3日(金)	10:00~10:55	第2会場	一般演題3	変形矯正・足	1-2-11	4	10017	○	外反母趾を合併したCharcot関節に創外固定を用いて同時に矯正術を施工した1例

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	発表順	登録番号	症例報告	演題名
8月4日(土)	16:05~16:45	第2会場	一般演題14	骨折3	2-2-35	3	10018		脛腓骨遠位骨幹部骨折に対しリング型創外固定を行う際の腓骨固定 - ハーフピン固定の試み-
8月4日(土)	9:40~10:40	第1会場	若手Awardセッション		2-1-09	3	10019		下腿骨感染性偽関節に対するBone transportの治療成績
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-02	2	10020	○	中足骨癒合症に伴う両小趾の短縮と変形に対して仮骨延長法で治療を行った1例
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-18	3	10021	○	Focal fibrocartilaginous dysplasiaによる変形と脚長差に対する緩徐矯正の1例
8月4日(土)	9:35~10:45	第2会場	一般演題11	看護・リハビリテーション	2-2-11	1	10022		イリザロフ創外固定による治療を初めて導入した時に病棟看護師が抱いた不安の評価～アンケート調査より～
8月3日(金)	17:05~17:40	第2会場	一般演題7	骨折2	1-2-38	2	10023		AO分類Type C3橈骨遠位端骨折に対する創外固定併用の有用性
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-03	3	10024	○	右脛骨骨幹部骨線維性異形成に対する創外固定を使用した治療
8月4日(土)	9:40~10:40	第1会場	若手Awardセッション		2-1-10	4	10025		開放骨折に対する一時的創外固定器を使用した治療成績
8月4日(土)	16:05~16:45	第2会場	一般演題14	骨折3	2-2-36	4	10026		一時的に簡易式イリザロフ創外固定器を病棟で設置した下肢外傷例の検討
8月4日(土)	16:05~16:45	第2会場	一般演題14	骨折3	2-2-37	5	10027	○	Pilon骨折に合併した立方骨nutcracker骨折に対してHoffman創外固定を用いて治療した1例
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-19	4	10028	○	脛骨変形癒合に対して術中Taylor Spatial Flameを用いて治療した1例
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-04	4	10029	○	脊柱側弯症の治療が施されていた脚長不同症の1例
8月4日(土)	14:20~15:05	第1会場	一般演題8	工夫と研究	2-1-17	3	10030		脛骨プラトー骨折に対する術中創外固定器あるいはlarge distractorの併用
8月3日(金)	15:25~16:20	第1会場	一般演題1	偽関節・感染	1-1-11	5	10031	○	リング型創外固定器を用いて治療を行った大腿骨遠位部骨折 (AO分類33-C2) 後の整復不良による偽関節の1例
8月4日(土)	14:20~15:05	第2会場	一般演題12	小児疾患	2-2-21	1	10032	○	外骨腫に伴う大腿骨遠位骨端線障害により長期に治療を要した1例
8月3日(金)	10:00~10:55	第2会場	一般演題3	変形矯正・足	1-2-12	5	10033	○	下腿デグロービング損傷後に生じた尖足変形と凹足変形を創外固定にて同時に矯正した1例
8月4日(土)	9:40~10:40	第1会場	若手Awardセッション		2-1-11	5	10034		インプラント抜去せずリング型創外固定器の追加により治療した上腕骨骨折・偽関節の3例
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-05	5	10035		橈骨・尺骨遠位骨端線損傷後の成長障害に対する創外固定を用いた骨延長術の治療成績

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	発表順	登録番号	症例報告	演題名
8月4日(土)	14:20~15:05	第1会場	一般演題8	工夫と研究	2-1-15	1	10036	○	脛骨骨移動術後のCT/有限要素法による骨強度評価—予測骨折部位で骨折した1例—
8月4日(土)	9:35~10:45	第2会場	一般演題11	看護・リハビリテーション	2-2-12	2	10038		創外固定装着患者に対する看護ケアの実態調査とケア向上のための取り組み
							10039		取り下げ
8月3日(金)	17:05~17:40	第2会場	一般演題7	骨折2	1-2-39	3	10040	○	示指基節骨粉碎開放骨折に対しdefinitiveに創外固定を使用した一例
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-20	5	10041	○	高度外旋短縮変形癒合した脛骨骨幹部骨折に対しTSF (Taylor Spatial Frame) を用いて変形矯正した1例
8月4日(土)	8:50~9:30	第2会場	一般演題10	高齢者の治療	2-2-08	3	10042		高齢者の上腕骨遠位部骨折に対する 創外固定を用いた治療戦略
8月4日(土)	9:35~10:45	第2会場	一般演題11	看護・リハビリテーション	2-2-14	4	10043		リング型創外固定術後における痛みの有無による歩行の特徴
8月3日(金)	16:20~17:00	第2会場	一般演題6	骨折1	1-2-32	2	10044	○	下腿遠位部開放骨折に対しMATILDA法を用いて治療した一例
8月3日(金)	16:20~17:00	第2会場	一般演題6	骨折1	1-2-33	3	10045		閉鎖性下肢骨折に対する急性期創外固定法
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-21	6	10046	○	化膿性関節炎後の多発関節変形に対しChondrodiatasisを複数回おこなっている一例
8月3日(金)	9:10~9:55	第2会場	一般演題2	骨延長・小児	1-2-06	6	10047		脚長不等に対して3歳で骨延長術を施行した3例の検討
8月3日(金)	11:00~11:55	第2会場	一般演題4	変形矯正・長管骨	1-2-22	7	10048		Multi-Axial Correction (MAC) Fixation Systemを用いた特発性下腿外捻症の治療経験
8月4日(土)	9:35~10:45	第2会場	一般演題11	看護・リハビリテーション	2-2-13	3	10049		創外固定器による骨延長術を受けた患者が治療の過程で抱く思いに関する研究～学童期から思春期の患者に焦点をあてて～
8月4日(土)	9:35~10:45	第2会場	一般演題11	看護・リハビリテーション	2-2-15	5	10050		高エネルギー外傷に対する創外固定治療-当院における早期リハビリテーションの介入の成果-